



# 補足資料

**政見放送の政党提出ディスク制作における  
NHKの技術基準について（衆議院選挙）**



## 目次

1. はじめに（p 3）
2. 持ち込み政見（XDカムディスク）の技術基準（p 4）
3. 各項目の補足事項（p 5～11）

# 1. はじめに

◆この資料は、衆議院選挙小選挙区における、政見放送の政党提出ディスク(以下、持ち込み政見)技術基準についての補足資料です。

◆技術基準は、公平性を担保するために放送時の映像/音声の品質に大きな差が生じないようにするのが目的です。

◆持ち込み政見の制作にあたっては、  
NHKの定める技術基準（別紙）を十分に参照してください。

◆当該基準は、政見を放送するNHKが独自に規定したものであり、民放の基準とは異なる部分があります。

◆基準をみたさないディスクは、NHKで受け付けることができません。

(放送時に映像音声や文字の内容などが視聴者に伝わらない可能性があります)

# 持ち込み政見（XDカムディスク）の技術基準

衆議院小選挙区

政見放送（テレビ・ラジオ）の政党提出XDカムディスクの技術基準

日本放送協会

## 1. ディスク（テレビ・ラジオとも同一規格）

- (1) 種類 XDカム用 PFD (Professional Disc)。
- (2) ディスク 1層式 PFD23A: リライタブル（書き換え型）23GB または  
2層式 PFD50DLA: リライタブル（書き換え型）50GB

## 2. 映像周波数

映像は、フレーム周波数は29.97Hz、フィールド周波数は59.94Hzのインターレース信号とする。

## 3. 収録フォーマット（テレビ・ラジオとも同一規格）

- (1) 下図「提出するディスクの収録フォーマット」と「提出するディスクの収録フレーム」に従って記録する。
- (2) 記録コーデック: SONY XDCAM MPEG HD422  
ビットレート50Mbps（1920×1080）で記録

### (3) 基準信号

映像: ARIBマルチフォーマット・カラーバー (ARIB STD-B28準拠)  
またはこれに代わる信号。

100%白、0%黒の部分があること。

音声: 1kHz 0VU (−18dBFS)。

1・2チャンネルに同一信号を記録する。

- (4) 表示パターンには、「都道府県名・党名」、「テレビ・ラジオの別」、「内容時間（9分以内）」、2種類のディスクを提出するときは「Aディスク」、「Bディスク」の区別を表示する。

- (5) 放送開始点は、表示パターン終了から5秒後とする。表示パターンから放送開始点までの5秒間は、放送内容の冒頭映像を記録する。また、放送終了点後約15秒間は、放送内容の最終映像を記録する。

## 4. 収録レベル等（テレビ・ラジオとも同一規格）

- (1) 映像: 輝度信号は、最大値が100%を超えないこと、最小値が0%を下回らないこと。
  - ・トランジェントパルスの成分は、+109%まで許容する。なお、マイナス方向の輝度信号は存在してはならない。
  - ・セットアップは0%とする。クロマ信号は、ベクトルスコープの100%原色点（R、Ye、G、Cy、B、Mgの6点）を結ぶ六角形内に収まっていること。

- (2) 音声: 平均ラウドネス値を−24.0LKFS とすること。

ただし、±1LKFSを許容範囲とする。

（参考: ラウドネス値測定は、モノ出力をラウドネスメーターのL/Rにパラで入力する。  
または1・2CH同じ音声で制作し、その1・2CH出力をL/Rに入力する。）

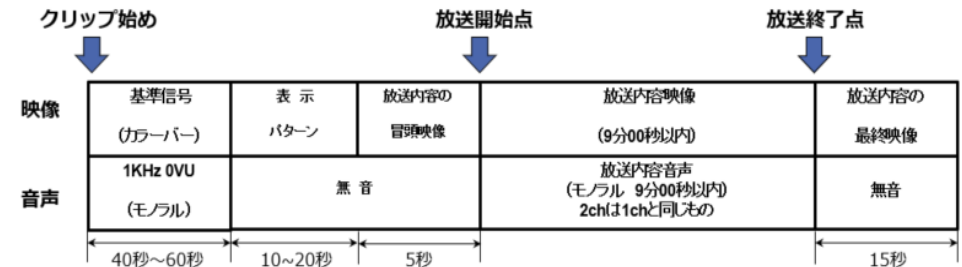
・ピークレベルはサンプルピークメーターで−3dBFS以内とする。

・モノラル（1CH=主音声、2CH=1CHと同じ音声）

・過度のコンプレッションや過度の高域周波数の強調を行わないこと。

- (3) タイムコード: 表示パターン開始点から最終映像終了点まで連続したタイムコード（LTC）が収録されていること。ドロップフレーム（DF）を使用すること。

## <持ち込みディスクの記録フォーマット>



※注 基準信号から放送内容の最終映像までは同一クリップで収録されていること。

## <提出するディスクの収録フレーム>

提出ディスクの内容は、16:9のハイビジョンフレームで制作する。

注意 ※放送は、提出されたディスクからNHKの放送用メディアにコピーして行う。  
※本技術基準は選挙ごとに見直すことがあります。事前にNHKにお問い合わせください。

## 5. いわゆる「光点滅」について

連続する大量のカメラフラッシュなどの映像は、視聴者の健康に影響を及ぼすおそれがあります。NHKで技術的なチェックを行い、健康に影響を及ぼす恐れのある映像があると判断された場合、手直しをお願いすることもありますので、「アニメーション等の映像手法に関するガイドライン」を確認していただき、政見放送の作成にはご配慮をお願いします。

## 6. ラジオについて

### ◆納品メディア

提出にあたっては、テレビと同様にディスクで納品。

テレビの音声と同じ内容の場合、兼用することができ、

別に納品する必要はなし。（その旨を表示パターンに記載すること）

### ◆基準信号

テレビ基準で収録した物を納品。

### 3. 各項目の補足事項

#### 持ち込み政見（XDカムディスク）の技術基準

#### 1. ディスク（テレビ・ラジオとも同一規格）

- (1) 種類 XDカム用 PFD（Professional Disc）
- (2) ディスク 1層式 PFD23A：リライタブル（書き換え型 青色）23GB または  
2層式 PFD50DLA：リライタブル（書き換え型 赤色）50GB



【PFD23A】



【PFD50DLA】

→ 黄色の3層ディスクは使用できません。

#### 2. 映像周波数

映像はフレーム周波数は29.97Hz、フィールド周波数は59.94Hzのインターレース信号とする。

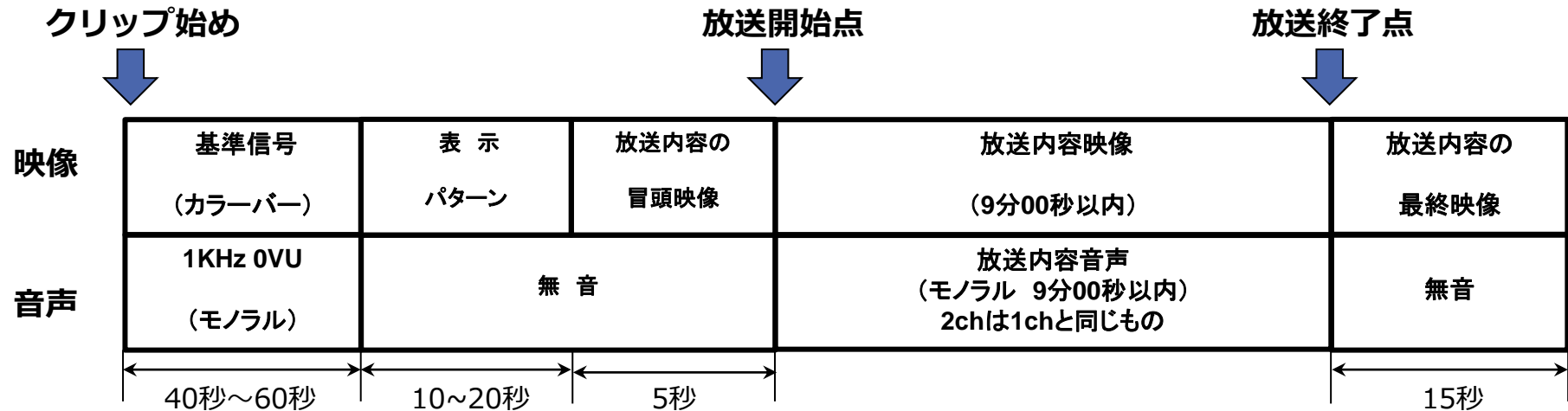
→ 24Pや30Pなどのプログレッシブ映像は受け付けることができません。

## 持ち込み政見（XDカムディスク）の技術基準

### 3. 収録フォーマット（テレビ・ラジオとも同一規格）

（1）＜提出するディスクの収録フォーマット＞と＜提出するディスクの収録フレーム＞に従って記録する。

＜持ち込みディスクの記録フォーマット＞



※注 基準信号から放送内容の最終映像までは同一クリップで収録されていること。

＜提出するディスクの収録フレーム＞

提出ディスクの内容は、16：9のハイビジョンフレームで制作する。

注意 ※放送は提出されたディスクからNHKの放送用メディアにコピーして行う。

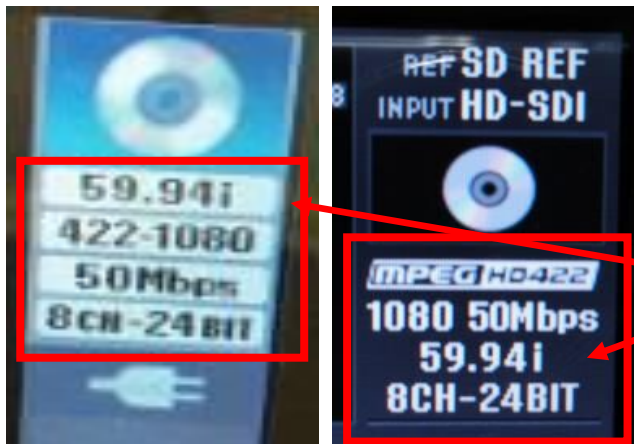
## 持ち込み政見（XDカムディスク）の技術基準

### 3. 収録フォーマット（テレビ・ラジオとも同一規格）

（2）記録コーデック：SONY XDCAM MPEG HD 4 2 2

ビットレート50Mbps（1920×1080）で記録

→ 記録コーデックが異なった場合、NHK側でコーデック変換は行いません。



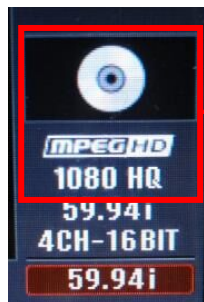
PDW-HD1500  
操作パネル表示

XDS-PD2000  
操作パネル表示

- ・ファイル形式（拡張子）：MXF
- ・コーデック：SONY XDCAM MPEG HD422  
ビットレート50Mbps（1920×1080）
- ・オペレーションパターン：OP1A

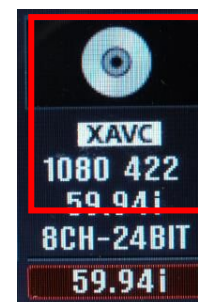
※ XDカムデッキ表示部でフィールド周波数、記録コーデックなどの確認ができます。

【NG例1】



コーデックL35  
MPEG HD420 35Mbps

【NG例2】



コーデックXAVC  
(AVC/I100 OP1A) 100Mbps

## 持ち込み政見（X Dカムディスク）の技術基準

### 3. 収録フォーマット（テレビ・ラジオとも同一規格）

#### （3）基準信号

映 像：A R I B マルチフォーマット・カラーバー（A R I B S T D - B 2 8 準拠）  
またはこれに代わる信号。1 0 0 % 白、0 % 黒の部分があること。

音 声：1 k H z 0 V U （- 1 8 d B F S）1 ・ 2 チャンネルに同一信号を記録する。

（4）表示パターンには、「候補者名」「政党名」「道府県名」、「テレビ・ラジオの別」、「内容時間（9分00秒以内）」を表示する。

（5）放送開始点は、表示パターン終了から5秒後とする。表示パターンから放送開始点までの5秒間は、放送内容の冒頭映像を記録する。また、放送終了点後約15秒間は、放送内容の最終映像を記録する。



## 持ち込み政見（XDカムディスク）の技術基準

### 4. 収録レベル等（テレビ・ラジオとも同一規格）

（1）映像：輝度信号は、最大値が100%を超えないこと、最小値が0%を下回らないこと。

- ・トランジェントパルスの成分は、+109%まで許容する。なお、マイナス方向の輝度信号は存在してはならない。

※ トランジェントパルスの … 定期的に発生しない信号（波形）

- ・セットアップは0%とする。

→ 0%以下となる部分がある場合は修正を求めます。

- ・クロマ信号は、ベクトルスコープの100%原色点（R、Ye、G、Cy、B、Mgの6点）を結ぶ六角形内に収まっていること。

→ 100%を超えても、以下の場合には問題ありません。

- ・通常のカメラ調整で表現しているハイライト部分
- ・オーバーシュート領域（100～109%）を表現するためのトランジェント的パルス
- ・100%を超える輪郭部分波形のひげ など

→ ただし、基準規定の電気信号によるバックカラーやテロップの白レベルなどが100%を超えるものは、NGとして修正を求めます。

## 持ち込み政見（XDカムディスク）の技術基準

### 4. 収録レベル等（テレビ・ラジオとも同一規格）

- （2）音 声：平均ラウドネス値を－24.0LKFSとすること。（±1LKFSを許容範囲とする）  
（参考：ラウドネス値測定は、モノ出力をラウドネスメーターのL/Rにパラで入力する。  
または1・2CH同じ音声で制作し、その1・2CH出力をL/Rに入力する。）

・ピークレベルはサンプルピークメーターで－3dBFS以内とする。

・モノラル（1CH＝主音声、2CH＝1CHと同じ音声）

→ **ステレオで収録された素材は受け取ることができません。**

・過度のコンプレッションや過度の高域周波数の強調を行わないこと。

- （3）タイムコード： 表示パターン開始点から最終映像終了点まで連続したタイムコード（LTC）が収録されていること。ドロップフレーム（DF）を使用すること。

→ **ノンドロップフレーム（NDF）の素材は受け取ることができません。**

## 持ち込み政見（X Dカムディスク）の技術基準

### 5. いわゆる「光点滅」について

連続する大量のカメラフラッシュなどの映像は、視聴者の健康に影響を及ぼすおそれがあります。NHKで技術的なチェックを行い、健康に影響を及ぼす恐れのある映像があると判断された場合、手直しをお願いすることもありますので、「アニメーション等の映像手法に関するガイドライン」をご確認いただき、政見放送の作成にはご配慮をお願いします。

### 6. ラジオについて

#### ◆納品メディア

提出にあたっては、テレビと同様にX Dカムディスクで納品。  
テレビの音声と同じ内容の場合、ディスクを兼用することができ、別に納品する必要はなし。（その旨を表示パターンに記載すること）

→ **テレビの音声で無音が続く部分は、そのままラジオでも無音になることをご留意下さい。**

#### ◆基準信号

テレビ基準で収録した物を納品。